

今年最後の参観日

12月9日（月）今年最後の参観日を実施しました。本校では1日公開としており、1時間目から5時間目まで多くの保護者の皆様が、御都合に合わせお子さんの授業を参観しました。今回は95名の保護者が参観し、他にも高台小学校の先生方や、学校運営協議会の方々が生徒達の活躍の様子を観てくれました。たくさんの御参観ありがとうございました。

2年生は、2～4時間目に体育館にて、10月に行った職場体験学習の発表会を行いました。

訪問場所、活動内容、気付いたことについて訪問グループ毎にタブレットを使いながら発表していました。生徒や保護者の前で、発表するまで緊張していた生徒達も、他のグループの体験を興味津々に聴き入っていました。学校外で貴重な体験をするとともに、学んだことを仲間と共にわかりやすくまとめ発表するまでが今回の職場体験学習のねらいでしたが、皆無事に成し遂げることができたようです。



5時間目は全学年、全学級で道徳の授業を行いました。1年生は「役に立つことができるかな」、2年生は「真の友情 ライバル」、3年生は「自分・相手・周りの人 マタニティマーク」という題材を使って、級友と意見を交わしながら、より良い生き方について考えを深めていました。



放課後、3学年は今年度最後の参観日のため、学年懇談を実施しました。2学期の学校生活の様子や進路について話すと共に、TV「初耳学」からの引用で、脳に「頑張ったから成果が出た」という経験をさせることの大切さが話されました。ちなみに最も経験させてはいけないのは「頑張らなかったけど成果が出た」で、脳が頑張らない習慣を身に付けてしまうそうです。

2学年は茶話会を実施し、その中で本校スクールカウンセラーのブルックス亜由美先生を講師に迎え、子育てについての講話を聞きました。「子育てに正解はありません。親が迷うのは当たり前。しかし大人の正しいを押しつけすぎないように。子どもにとって家は一番安心できる場所。時には放っておいたり、適度な距離感も大切です。」といった話に保護者の皆さんはうなずきながら耳を傾けていました。